

津野 祐次 写真展

2020年
9/5 (土) — 11/8 (日)



9:00～17:00 (最終受付は16:30) 信州高遠美術館 第一展示室

入館料 500円(400円)※()内は割引料金 高校生以下および18歳未満の方の入館料は無料

休館日 9/8 ㊟、15 ㊟、23 ㊟、24 ㊟、29 ㊟、10/6 ㊟、13 ㊟、20 ㊟、27 ㊟、11/4 ㊟

山岳写真家・津野祐次氏のバラを中心とした写真を展示します。

【主催】伊那市、伊那市教育委員会、信州高遠美術館 【助成】長野県地域発元気づくり支援金活用事業



要予約

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止になる可能性があります。ご了承ください。

展覧会関連イベント

オープニング式典 & 津野祐次氏 ギャラリートーク

9/5 (土)

オープニング式典：10:00～
ギャラリートーク：式典終了後

津野祐次氏ご本人に、展示作品について撮影テクニックを交えて語っていただけます。

会場：信州高遠美術館

受講料：なし ※入館料が必要です

定員：20人程度

※お申込みは信州高遠美術館へ
お願いいたします。



PHOTOGRAPHER

山岳写真家

つ の ゆうじ
津野 祐次

1945年長野県駒ヶ根市生まれ。1982年、写真界の巨匠・柴崎高陽氏に師事。1992年、写真事務所を開設し独立。日本アルプスの山岳地帯を主に、国内の自然風景を撮り続ける。作品は、山岳・カメラ・旅行雑誌、カレンダー、ポスターなど数多くの印刷物に発表。富士フィルム(株)、タムロン(株)等の販売促進用カタログに写真が採用される。JR東日本・旅行会社等の撮影会講師、学校・会社・団体等の講演会講師、各種写真コンテストの審査もこなす。NHKテレビ「おしゃれ工房」、BSフジ「絶景百名山「空木岳」等にメイン出演。

2006年、長野県長谷村から善行功労賞を授与する。2014年、御嶽山噴火の際、山頂付近で噴火に遭遇、その時撮影した写真が毎日新聞朝刊の一面

に掲載、毎日新聞年間報道写真部門グランプリ受賞。2015年、日本山岳写真協会展「山・われらをめぐる世界」で羽田栄治賞受賞。作品を常設した「長谷アルプスフォトギャラリー」((株)ヤマウラ開設)が長野県伊那市長谷にある。ドイツ・フォトキナ、東京、名古屋、岡崎、長野、松本、飯田、伊那、諏訪、駒ヶ根など国内外で個展多数開催。現在、日本山岳写真協会評議員および理事、南信支部長を務める。

写真集 / 『山溪写真選集・中央アルプス』、『日本の山と溪谷・甲斐駒・仙丈・塩見岳』(山と溪谷社)。『桜さくら高遠』、『さくら桜伊那高遠美しき春』(信濃毎日新聞社)。『光と山気の交響曲』(新葉社)。登山ガイドブック、撮影マニュアル書、高山植物図鑑等の著書・写真集計17冊、共著約200冊。

信州高遠美術館 第2展示室 収蔵作品展

同時開催

素朴+洗練=

かわいい! コレクション



▲木内克「裸婦」1963年(左)、1972年(右)

テラコッタで女性の身体美を表した木内克の、軽妙な手びねりの小さな裸婦像たちや、自然をつぶさに観察し、その生き方と風貌から仙人とも呼ばれた熊谷守一の、動植物を描いた墨彩画など、一見素朴なようで作家の洗練された技量に支えられた「かわいい」作品を厳選して展示します。また、明治から昭和にかけて活躍した伊那谷にゆかりのある郷土作家の見ごたえのある大作・秀作もあわせて展示します。

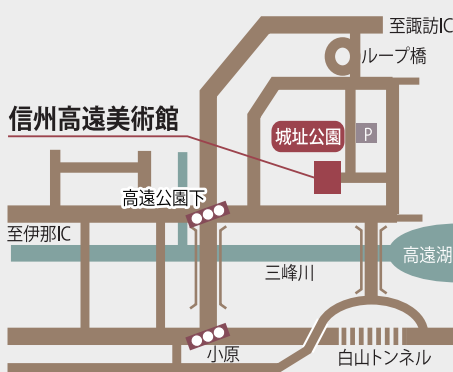
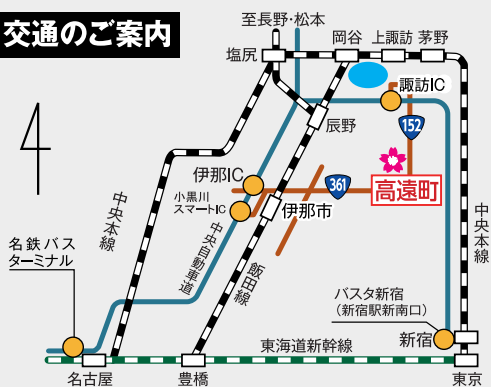


▲熊谷守一「蟻」



▲江崎孝坪「土師部」1938年(第2回新文展出品作)

交通のご案内



車をご利用の場合

- 伊那I.C. から国道361号を經由30分
- 諏訪I.C. から国道152号を經由50分
- 小黒川スマートI.C. から25分

電車・バスをご利用の場合

- 伊那市駅・伊那北駅から高遠線 JRバス 25分で高遠駅。高遠駅から徒歩25分

信州高遠美術館

〒396-0213 長野県伊那市高遠町東高遠400
TEL 0265-94-3666 FAX 0265-94-3936
E-mail : t-bjk@inacity.jp

▼美術館サイト



▼交通のご案内

